

福しん通信10月号

日本の文化の中心「お米」

日 本の人口は、縄文時代は約27万人、弥生時代に約60万人、奈良時代には600〜700万人

…と、お米の生産量と比例して増加して来ましたが、お米は昔から、命をつなぐ大切な食べ物でした。

ま たお米は、私達日本人の習慣や儀礼(おれい)の中に、現代でも深くかわりを持っています。

例えば、「相撲」。相撲では土俵入りの時「四股(しこ)をふむ」という動作がありますが、これは大地をふみ災いを追い払い、豊作をもたらす田の神の力が田から消えない様にする意味があったと考えられています。お米は食べ物としてだけでなく、今でも日本人の生活文化に根付いている大切なものなのです。

白のご飯が良く合う、福しんの定食

-  **580円** レバニラ炒め定食
-  **580円** マーボー定食
-  **630円** しょうが焼き定食
-  **480円** ギョウザ定食

福しんホームページアドレス <http://www.fukushin.info>